KEYXCON

キーコンシリーズ総合カタログ



リモコン 交差点制御 渋滞緩和 シャッター制御 単線制御

Key cart + 1



レシーバーをキーカートに載せるだけ

プログラムレスのリモコン操作

いつでもどこでも

走行中のキーカートから選んで

「停止」・「発進」をかんたん操作



停止

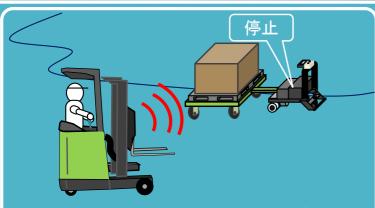


キーカートの リモコン

フォークリフトを 降りることなく ラクラク操作



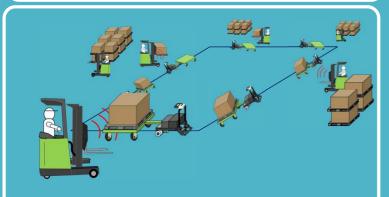




フォークリフトに乗ったままキーカートを停めて パレット載せ降ろし 作業終了後リモコンでGO!



カゴ台車を運ぶ リモコンでキーカートを停めて 繋いだらGO! 倉庫のロケーションは流動的



フォークリフトから一番近い所でキーカートを停め て荷物の受渡 横持はキーカートの仕事!



カゴ台車を繋ぎたい場所は移動します。キーカートの停止は定位置から自由位置へ





4bitセンサー用コネクターに搭 載機の配線コネクターを接続 するだけで準備完了



キーカートにカバーやFLAGを取付け、リモコンの番号に合 わせたキーカート番号を表示します。複数台のキーカート からピンポイントに指示が可能

- レシーバーは工事不要でかんたんに取付が出来ます
- パレット台車やカゴ台車用連結治具も別途準備可能です
- カーブや加減速設定はキーカートの基本制御機能通りです
- キーカート搭載の4bit入力端子を利用して制動を行う機器です
- 通常プログラム動作の停止から発進することが可能です
- リモコンは乾電池 レシーバーはキーカートの電源より受電します 応答速度より停止制動距離は変動します
- 最大27台のキーカートまでコントロール可能です キーカートの基本タイプも使用可能です

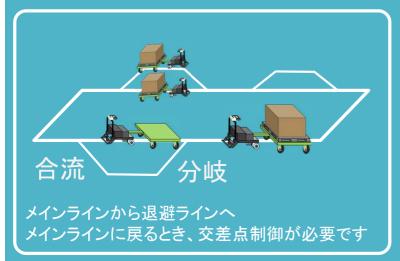


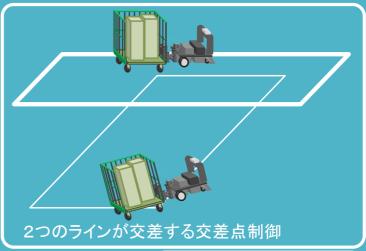
KEY X CON+

キーカートに載せるだけで
交差点の交互通行制御が
カンタンに出来る!

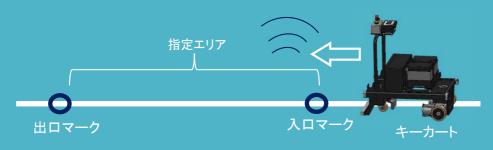


- 複数台走行するキーカートの分岐合流コースが作りたい
- 2ラインが交差するレイアウトが作りたい
- 安価で交差点制御を行いたい



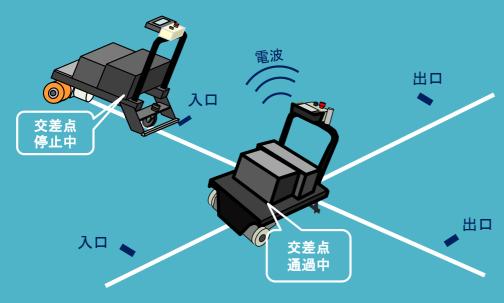


交差点制御のしくみ



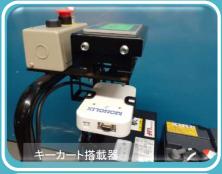
キーカート搭載機の基本動作

- ①入口マークを認識すると搭載機から「進入信号」を電波を発信
- ②出口マークを認識すると搭載機から「退出信号」を一時発信し電波を停止



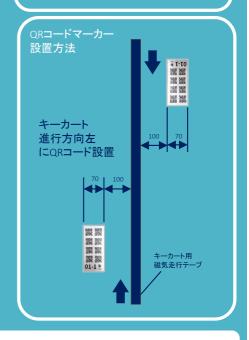
交差点制御の後先順位を決める

- ・入口マークを先に認識した側のキーカートを走行させ
- ・後に入口マークを認識した側のキーカートを停止させる
- ・先行車が出口を認識し通過したら後続のキーカートを再発進する
- ・発信される電波の有無で先行・後行を決定する
- レシーバーは工事不要でかんたんに取付が出来ます
- パレット台車やカゴ台車用連結治具も別途準備可能です
- カーブや加減速設定はキーカートの基本制御機能通りです
- キーカート搭載の4bit入力端子を利用して制動を行う機器です
- 通常プログラム動作の停止から発進することが可能です
- リモコンは乾電池 レシーバーはキーカートの電源より受電します 応答速度より停止制動距離は変動します
- 最大27台のキーカートまでコントロール可能です キーカートの基本タイプも使用可能です





床にマーカーとして貼り付けます。表面を 保護フィルムで加工した特殊なシートです

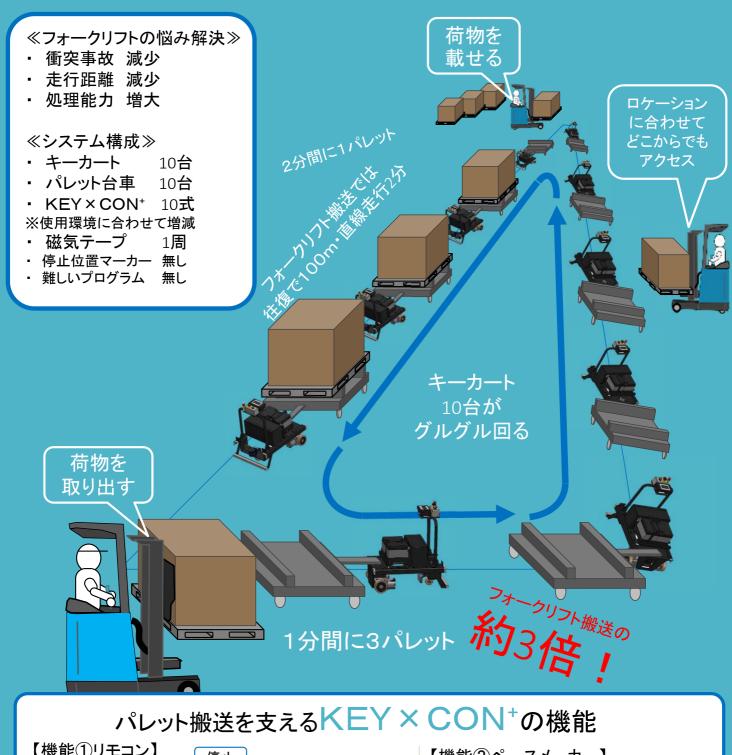




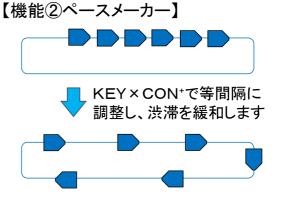


KEY×CONの応用

回るAGVパレット搬送

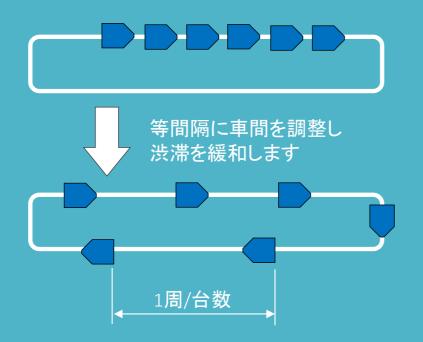






KEY×CONの応用

渋滞緩和



間隔を空ける為にプログラムで一時 停止時間を入れると、AGV前後の車間 を空けることができます。

しかし、1周に掛かる時間に一時停止 時間が加算されるため、その分の搬送 能力が落ちることになる。

KEY×CON+の交差点制御を応用すると時間ロスを最小限に抑えながら車間距離を保ち、渋滞緩和を行えます。

交差点制御を使った渋滞緩和



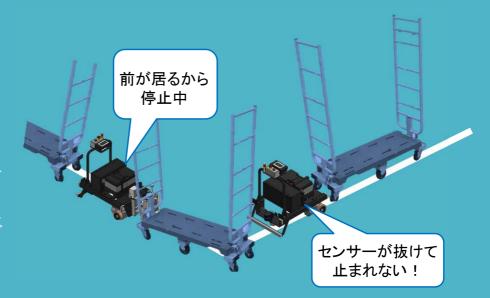
交差点制御と同様に入口マークを読んで車間エリアに入ったキーカートが居るとき、後発のキーカートは入口マークを読んで止まります。先発のキーカートが出口マークを読むと後発のキーカートが発進し車間エリアに進入します。車間エリアには必ず1台のキーカートしか存在できません。よって、車間エリアの距離分車間距離を空けることが出来ます。もし、車間エリアに車両が居ない時は入口マークを読んでもキーカートはそのままの速度で走行し続けます。

カーブの干渉対策

台車や6輪カートを牽引搬送するキー カートの車間距離は障害物センサーに 頼り過ぎると衝突の原因となります。

- ①曲がり角でセンサーが見逃す
- ②台車の隙間をセンサーが抜ける
- ③台車の角は検知しずらい など

カーブの手前でKEY×CONを使って車 間距離を保ちスムーズなコーナーリング を行いましょう。

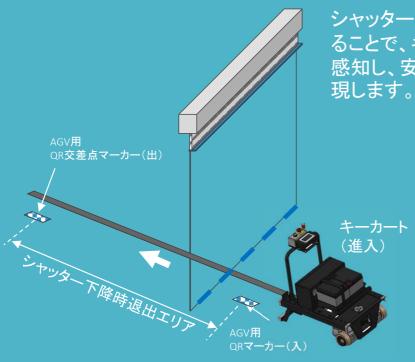


KEY X CON+1

キーコン更に使える

KEYXCONでシャッターをコントロール

• クイックシャッターの開閉指示制御



シャッターに専用地上器を取り付け ることで、キーカートの進入・退出を 感知し、安全なシャッター通過を実

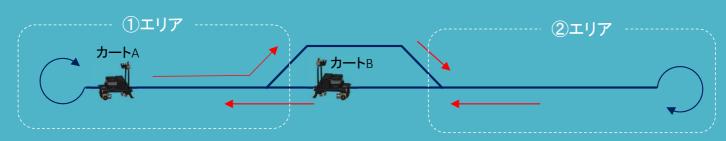
> 【クイックシャッター開閉指示制御】 キーカートがシャッタ手前のマークを読み シャッターに開指示を出す。 通過後、マークを読み閉指示を出します キーカートの後に荷物を牽引しているとき

などでも、安全にシャッターを開閉します。

KEY×CONを使って単線相互制御



交差点以外の場所で出合い頭にお互いが止まってしまう



キーカートAが①エリアを出るまではキーカートBは①エリアに入れません

必ず、中心の離合エリアで入れ替わります。

※全エリアの距離が遠く電波が途切れる場合は、対応することができません。



導入に向けての注意事項

キーカートの種類・タイプ・付属するオプションについて予め教えてください キーカートの種類やオプションによって取り付け方や運用に制限が出る場合があります。

KEY×CONシリーズは2.4GHz電波帯の機器を使用しています。現場環境での使用か可能であることを 確認してください。(デモテスト機貸し出しも可能です)

リモコン制御は27台まで制御可能です。交差点制御は10台まで対応します。台数が超える場合は、別途ご 相談ください。

KEY×CONシリーズの電波は機器通信距離30mの範囲で使用してください。リモコンと該当キーカート の距離や同じNo. の交差点入口と出口の距離(半径)など。 また、電波を著しく減衰させる環境下では3 Om以下になる場合もあります。

リモコンは、交差点内のキーカートに対して無効になります。交差点制御や定間隔制御を利用する場所で のリモコン操作はできません。リモコンに各機の状態を表示することが出来ます(ボタンの点灯)

外光(太陽光)の影響でQRコードの読み取りが困難な場合があります。外光をなるべく避ける対策を講じ てください。

キーカートの走行によりQRコードの読み取りが不安定になる場合があります。以下の事に注意してください ①キーカートの走行速度10~30m/minの範囲でQRの読み取りを行ってください。

- ②走行コースの直線部分での読み取りを行ってください。
- ③加速、減速中にQRコードを設置すると読み取り率が下がります

リモコンの押しボタンスイッチは、消耗部分として使用日数に関わらず、保証の対象外と致します。 また、リモコンの落下及び衝撃による故障も保証対象外と致します。

